

別記第1号様式(第7関係)

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		平成30年度 第2回豊島区災害医療検討会議
事務局(担当課)		地域保健課
開催日時		平成31年3月25日(月)午後7時30分～午後9時
開催場所		池袋保健所3F講堂
議 題		(1) 30年度災害医療対策訓練実施報告 (2) 緊急医療救護所について (3) IP無線機の導入について (4) 課題及び対応状況並びに平成31年度計画について
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由

出席者	委員	<ul style="list-style-type: none"> ・会長：大同病院 院長 (区災害医療コーディネーター) 島本 悦次 ・副会長：池袋病院 院長 (区災害医療コーディネーター) 川内 章裕 ・帝京大学医学部附属病院 院長 坂本 哲也 ・要町病院 副院長 (区災害医療コーディネーター) 吉澤 明孝 ・都立大塚病院 副院長 澁谷 和彦 ・長汐病院 事務部長 留目 忍 ・としま昭和病院 院長 大部 雅英 ・豊島区医師会 副会長 関口 更一 ・豊島区医師会理事 上川床 裕 ・豊島区医師会 産婦人科医会会長 小川 隆吉 ・豊島区歯科医師会 会長 高草木 章 ・豊島区薬剤師会常務理事 田崎 崇 ・東京都柔道整復師会 豊島支部長 無藤 龍雄 ・南池袋訪問看護ステーション 厚美 道子 ・豊島区在宅医療連携推進会議 リハビリテーション部会長 新井田 龍一 ・東京都鍼灸師会 会長 土肥 康子 ・池袋保健所長 (区災害医療コーディネーター) 佐藤 壽志子
	その他 行政関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・池袋警察署 警備課長 喜々津 和義 ・巣鴨警察署 警備課長 清水 敏行 (当日は代理人が出席) ・目白警察署 警備課長 吉本 康久 ・池袋消防署 警防課長 安藤 正樹 ・保健福祉部長 常松 洋介 ・健康担当部長 樫原 猛 ・危機管理担当課長 長澤 義彦 ・生活衛生課長 栗原 せい子 ・健康推進課長 関 なおみ
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地域保健課担当係長 (管理G) 【他2名】 ・健康推進課担当係長 (管理・事業G) ・健康推進課担当係長 (保健指導G) ・生活衛生課担当係長 (生活衛生G) ・生活衛生課担当係長 (医務・薬事G) ・長崎健康相談所 長崎健康推進担当係長 (管理・事業G) ・防災危機管理課防災危機管理担当係長 (地域防災) 【他1名】

審 議 経 過

会長

新任の委員の紹介を事務局にお願いしたい。

事務局

池袋警察署警備課長が、平綿氏の異動により、喜々津氏が着任する。

議事

1. 30年度災害医療対策訓練実施報告

事務局より下記の訓練について報告

【資料2】 30年度災害医療対策訓練の実施報告、

【資料3】 区西北部二次保険医療圏・災害医療図上訓練実施報告)

- ・トリアージ訓練：平成30年7月7日（土）
- ・図上訓練：平成30年9月15日（土）
- ・緊急医療救護所立ち上げ訓練：平成30年11月10日（土）
- ・東京都区西北部医療圏災害医療図上訓練：平成30年12月19日（水）フェーズ0
平成31年1月20日（日）フェーズ1～2

委員

区の図上訓練である程度習熟することはできているが、今後近隣区との連携をどうしていくのか、他区の状況を把握するための会議体等も検討する必要があるのではないか。

委員

区西北部の訓練で、線路を境に東西に区が分断されてしまう事態が発生し、連絡体制の確保が課題であることがわかった。

また、近隣区の災害医療体制が遅れており、豊島区は先行しているとも感じた。

今後は区西北部だけでなく、新宿区や文京区との連携も必要になってくると思う。

委員

豊島区は外国人の居住者も多く、発災時の対応も考えておかななくてはならない。

委員

今後はリハビリテーション職の訓練参加者を増やしていきたい。

2. 緊急医療救護所について

事務局より報告（【資料4】緊急医療救護所一覧）

平成30年度の新設の緊急医療救護所として、高田馬場病院にご協力いただけることとなった。トリアージ場所としては高田第三公園を候補として考えており、資器材倉庫の設置に向けて調整している。

緊急医療救護所視察ツアーを平成31年5月26日（日）に医師会と合同で実施予定である。ツアーには関係団体が参加予定。

委員

都立大塚病院としても、周辺病院等と連携し、訓練に参加していきたい。

委員

豊島区薬剤師会では、緊急医療救護所の医薬品の入替を順次行っており、今後、高田馬場病院にも医薬品を入れていきたい。

委員

都立大塚病院から離れた地域では、日本大学附属病院との協力体制を構築し、妊産婦の救援体制を築いていきたい。

委員

鍼灸師会会員はまだ訓練にあまり参加できていないので、参加を促していきたい。

3. IP無線機の導入について

防災危機管理課より説明（【資料5】IP無線導入について）

携帯電話回線網を使用したIP無線機を区内20箇所に、2019年5～8月を目途に導入していく予定である。現状の移動系防災行政無線については、2020年に撤去する予定となっている。

委員

柔道整復師会にも新規で無線を設置していただけるという認識で良いか。

事務局

資料の一覧に掲載されている場所には、迅速に導入する。

委員

IP無線の配布先として、関野病院が入っていない。

事務局

関野病院は地域防災計画に入っていないため、配布先として掲載していないが、機器に余剰があった場合には渡していくよう手配する。

4. 課題及び対応状況並びに平成 31 年度計画について

事務局より説明（【資料 6】課題と対応状況）

委員

緊急医療救護所の活動を今後どうしていくか、検討が必要である。医師会でもマニュアルを整備し、役割分担を検討していく。医師会及び関係団体の担当で、緊急医療救護所での動きを確認する場を 3/30（土）に豊島区医師会館で設ける予定である。

委員

災害時医療救護活動への登録看護師が増えないので、区内の看護ステーションへの会議体でも告知等行って欲しい。

5. その他

委員

池袋病院一帯が 2/24（日）に停電した。その際、東京電力に電話したが、停電の原因や今後の復旧予定について、明確な回答がなかった。こういった停電が発生すると患者に影響があるので、区から東京電力に要請し、復旧・連絡体制を構築し、迅速な情報発信をするようにして欲しい。

事務局

ご迷惑お掛けしており、申し訳ない。区には、東京電力から復旧予定等の十分な情報提供がなかった。

今後も同様の停電によって、在宅を含めた患者の生命を脅かすことがないか懸念している。

委員

訓練では普段使用しているマニュアルや仕組みに穴がないかを確認していく必要があるが、豊島区は熱心に取り組んでいると感じるので、今後も継続して行って欲しい。

停電については、医療機関や在宅医療にも致命的なダメージが生じるので、広範囲の場合はマスコミ対応、狭い数百戸レベルであれば、行政を通じて情報提供して欲しい。

提出された資料等	<ul style="list-style-type: none">【資料1】 委員名簿【資料2】 30年度災害医療対策訓練の実施報告【資料3】 区西北部二次保険医療圏・災害医療図上訓練実施報告【資料4】 緊急医療救護所一覧【資料5】 IP無線導入について【資料6】 課題と対応状況
----------	--